

食安基発0423第5号
平成22年 4月23日

(財)日本健康・栄養食品協会理事長 殿

厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課長



α -リポ酸（チオクト酸）を含む「健康食品」について

平成21年度厚生労働科学研究において実施された、「自発性低血糖症の実態把握のための全国調査」（主任研究者：内潟安子東京女子医大医学部糖尿病センター第三内科教授）において、「自発性低血糖症」を発症した患者187名に対しアンケート調査を実施したところ、19名が「健康食品」を摂取しており、内16名が α -リポ酸を摂取していることが判明したとの情報提供がなされたところである。

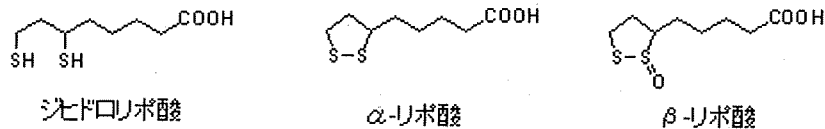
α -リポ酸を含むいわゆる健康食品に関しては、(独)国立健康・栄養研究所ホームページ (<http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail471.html>、<http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail714lite.html>) 等を介して情報提供を行ってきたところであり、 α -リポ酸を含むいわゆる健康食品を摂取していて、冷や汗、手足の震えといった症状が現れた場合には、速やかに摂取を中止する必要があると考えられる。

貴会におかれては、あらためて貴会会員、関係団体等に対し、 α -リポ酸を含有する健康食品を製造する際には、その含有量が医薬品の経口上限摂取量を超えることの無いよう周知すると共に、消費者に対し α -リポ酸の摂取により冷や汗、手足の震え等の体調変化が生じた場合には、速やかに摂取を中止し、医師等に相談する等注意喚起を行うようお願いする。

(参 考)

【 α -リポ酸とは】

α -リポ酸はチオクト酸 (Thioctic acid) とも呼ばれる物質で、その酸化体の β -リポ酸と区別するため α -リポ酸と呼ばれています。 α -リポ酸の一部は体内で還元され、SH基を持つジヒドロリポ酸に変化します(下図参照)。文献によっては α -リポ酸をビタミンと記載しているものもありますが、 α -リポ酸はビタミンではなく、ビタミン様物質として扱われています。



【インスリン自己免疫症候群 (IAS) について】

インスリン自己免疫症候群は、低血糖発作を起こす疾患で、特定の遺伝的素因を有する方が、SH基を持った薬剤の投与を受けることとの関連が指摘されています。1970年、平田らによって初めて報告されてから300例程度報告されているようです。その多くは東アジア、特に日本において報告されており、これはIASの発症に関係していると考えられているHLAの型(HLA-DRB1*0406)を持つ日本人が欧米人より多いためと考えられています。

詳細な情報については、下記ホームページに掲載されていますので
ご参照願います。

独立行政法人 国立健康・栄養研究所ホームページ

<http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail471.html>

<http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail714lite.html>